



◆相生山緑地を分断する市道・「弥富相生山線」建設が中断から中止になるのか、それとも建設再開になるのか？河村市長はその決定を、相生・高坂・野並・山根の四学区の住民による「住民投票のようなもの」を行い、その結果を見て判断する。**ただし、山根学区の生活道路への入り込みに対する解決策を提示してから投票を行う。判断は2014年度予算を決める1月末までに行う**と10月15日の記者会見で発表しました。



◆この「4学区の住民による住民投票のようなもの」に不安と疑問を持つ市民や団体が集まって、この会を作りました。3団体+個人が約70人で設立しましたが、もっとこの会に賛同して関わって下さる団体・個人を募っています。



◆「住民投票のようなもの」に対する不安と疑問とは何かというと：

①「投票」をやるということが、4学区の住民にさえ、明らかにされていません。具体的なことは全く知らされていません。新聞報道を見た住民が「投票」があるらしいと知っている程度にしか知られていません。しかし、2014年1月末の予算編成の時までに市長は判断すると言っています。あと、2ヶ月ぐらいしか時間がありません。

②どのような内容で、どのような方法でやるのか？それも全く分かりません。いつやるのかも分かりません。そんなことって変じゃないですか？



③「相生山緑地」は名古屋市全体の公園です。市民全体ではなく、4学区の住民でこのような大切なことを決めるのでしょうか？



④投票する人々への説明はどのように行われるでしょうか？道路を建設したい名古屋市当局が道路建設によるマイナス面を説明するでしょうか？



⑤もし道路が出来れば、相生山の自然に対する悪影響は大きいでしょう。生活環境にも影響があります。騒音、大気汚染、新たな渋滞と入り込み、振動、風害、通学路の安全など、一日1万台の車が新たに呼び込まれるというのは地域の住民にとっては大問題です。



◆「市民の会」はこの道路の是非を判断するために必要な情報を市民が公平に共有することを目的としています。そのために以下のことをやります。

①「投票」の方法・内容に市民の意見を反映させることが出来るようにする

②「市民の会」主催の説明会や市長・行政との話し合いの場をつくること



◆11月8日、「市民の会」は以上のような質問を公開質問状として、市長と副市長にあてて提出。その後、記者会見をして「公開質問状」を発表しました。市長の手に渡ったかどうかは不明です。今後も行政、市民にアピールする活動を続けていきたいと思っています。公平な情報で判断できるようにしたいものです。